

令和5年度群馬県予算

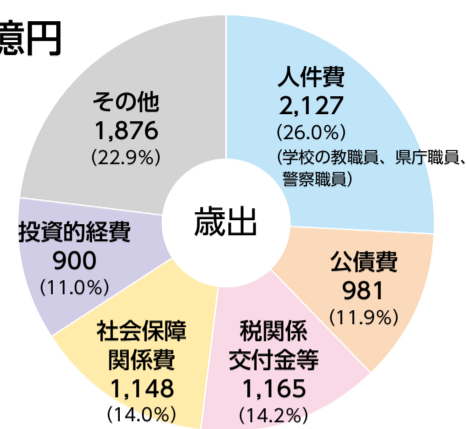
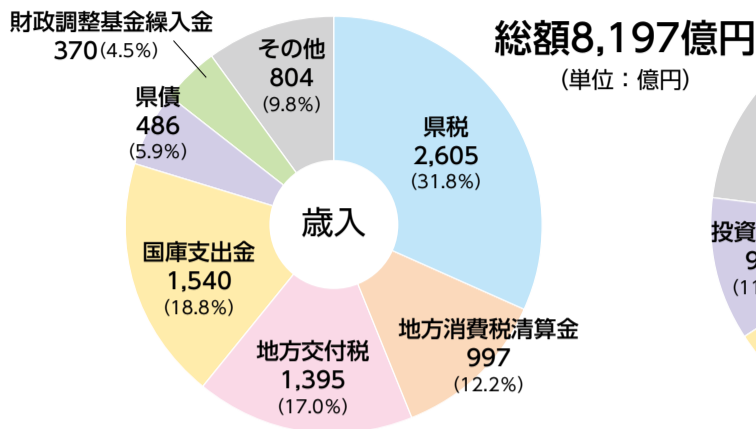
ポストコロナ 新時

5年度予算の概要

5年度予算の総額は8,197億円で前年度と比べて10億円(0.1%)増加しました。

歳入は、給与所得などの増加や堅調な企業業績などから、県税が前年度と比べて25億円の増加、地方消費税清算金収入は、消費の回復や輸入(貨物割)の増などが想定されることから、93億円の大幅な増加が見込まれます。一方、県債の発行額は臨時財政対策債の減により、大幅に減少しています。

歳出は、高齢化の進展などにより、社会保障関係費が45億円の増加、税収の増に伴う市町村への税関係交付金等が26億円の増加を見込んでいます。一方、新型コロナウイルス感染症対策経費は、国の交付金の対象となる事業の減などにより、100億円の減少を見込んでいます。



地方消費税清算金…最終消費地に地方消費税の税収を帰属させるため、都道府県の間で清算を行うもの
地方交付税…いったん国が税として集め、その一定割合が地方公共団体に配分されるお金
国庫支出金…使い道を決めて、国から支払われるお金
財政調整基金繰入金…財源の不足を補うための基金(貯金)の取り崩し

公債費…これまでに借り入れた県債の返済金と利子
投資的経費…将来にわたり使用される施設などの建設費

※端数処理の関係で、合計と一致しない場合があります

※県予算については、県ホームページからもご覧になれます



重点施策 1 Well-beingを高める

福祉・医療のさらなる充実

市町村と調整を進め、子ども医療費無料化の対象を高校生世代まで拡大します。また県立小児医療センターの再整備に着手するとともに、医療的ケア児等支援センターを設置するなど、障害児者支援のさらなる充実にも取り組みます。

全国的にも課題となっているヤングケアラーやケアリーバーに対する支援を強化する他、新たに保育士・保育所支援センターを設置して保育人材の確保を進めます。

- ◆ 子ども医療費の無料化(対象拡大予算は市町村と調整後に別途計上) 33億5,100万円
- ◆ 小児医療センター再整備マスタープラン策定 1,000万円
- ◆ 医師確保対策 5億2,153万円
- ◆ ヤングケアラー支援推進 1,885万円
- ◆ ケアリーバー支援 9,614万円
- ◆ 保育士・保育所支援センター設置運営 623万円 他

※1 ヤングケアラー…本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと

※2 ケアリーバー…児童養護施設や里親などの社会的養護のケアから離れた子ども・若者のこと



子ども医療費の無料化を高校生世代まで拡大



現在の県立小児医療センター(渋川市)



保育人材の確保を推進

新型コロナウイルス感染症・豚熱・鳥インフルエンザへの対応

新型コロナウイルス感染症の5類移行に対応しつつ、ワクチン接種の促進、相談・検査・医療提供体制などの確保に取り組みます。

また豚熱や鳥インフルエンザの発生を予防するための取り組みと、万が一発生した場合は、速やかにまん延防止対策がとれる体制を整えます。



PCR検査の様子

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策 763億7,075万円
- ◆ 豚熱対策 6億8,012万円
- ◆ 鳥インフルエンザ対策 1億 4万円 他

災害レジリエンスNo.1の実現

頻発化・激甚化する気象災害にしっかりと対応するため、引き続きハード・ソフトが一体となった防災・減災対策に取り組みます。また首都圏での大規模災害の発生時に、県内の医療機関がバックアップ機能を果たせるよう資機材の整備などを支援します。



河川改修(碓氷川)

- ◆ 重点水害アクション(5か年重点レジリエンス戦略) 12億4,297万円
- ◆ 防災インフラの整備・避難のサポート 285億2,047万円
- ◆ 災害医療の強化 2,700万円 他

※ 災害レジリエンス…想定外の大規模な災害時においても、致命傷を回避しつつ被害を最小化する「防災力」、そして県民の暮らしや経済活動を速やかに立ち直らせる「回復力」のこと。災害に対する強靭性

重点施策 2 未来への投資

～ 新たな富や価値の創出 ～

※1 リトリートの聖地へ

群馬県の温泉や豊かな自然などを生かしながら、心と体を回復する「リトリート」の聖地を目指し、群馬ならではの旅行の楽しみ方を提案することで、国内外からの誘客を促進します。また県立赤城公園は民間活力を活用して、体験施設などのリニューアル工事を実施します。



県立赤城公園

- ◆ リトリート推進 2億2,436万円
- ◆ ツーリズムイノベーション ※2 5,295万円
- ◆ 県立赤城公園活性化整備 11億 950万円 他

※1 リトリート…仕事や家庭などの忙しい日常から離れ、心と体を休め回復することで、疲れを癒やす過ごし方のこと

※2 ツーリズムイノベーション…新たな観光スタイルを構築すること

全国や海外からの観光誘客促進に取り組む他、デジタル化や脱炭素化に向けた取り組みを進めます。

※1 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

「日本最先端クラスのデジタル県」を5年度中に実現するため「ぐんまDX加速化プログラム」に基づいた取り組みをさらに推進します。MaaSの社会実装をはじめ、19の政策分野でデジタル技術による変革を起こすことで、さらなる県民の利便性向上を図ります。



- ◆ MaaS社会実装支援 4億4,396万円
- ◆ デジタルイノベーション加速化 2億円
- ◆ IT人材育成×女性就労支援 2,200万円 他

※1 DX…Digital transformationの略称で、デジタル技術により業務や社会を変革すること

※2 MaaS…Mobility as a Serviceの略称で、複数の公共交通やそれ以外のサービスを組み合わせてスマートフォンなどで検索・予約・決済を一括で行うサービスのこと